

—多文化共生に向けた取り組み—

科学館のサイトに「やさしい日本語」のウェブページができました

多摩六都科学館（館長 高柳雄一 以下、当館）では2月18日より、ウェブサイトにて、「やさしい日本語」のページを公開しました。

https://www.tamarokuto.or.jp/easy_japanese/

近年、多摩北部地域においても在住外国人が増加しています。当館では第2次基本計画（平成26年度～平成35年度）ローリングプラン2016において、当館が次に目指すことの中に、「ソーシャル・インクルージョンに基づき、誰もが楽しみ、交流できる場をつくりあげること」を掲げています。それらの実現に向け、昨年4月より文化庁「平成31年度地域と共働した博物館創造活動支援事業」の支援を受け、都内および国内の博物館等文化施設における多文化共生推進の取り組みに関する調査の他、公民館の日本語教室に通う生徒の見学の受入れ、やさしい日本語を用いた学習プログラムの実施を行っています。

また、中国語・韓国語のパンフレットを新たに作成した他、やさしい日本語のWEBページを公開することで、より多くの方に当館からの情報を伝えることを目指しています。

このやさしい日本語によるプログラムや情報公開は、国内の博物館において先進的な取り組みです。多くの博物館や文化施設へ普及することでより多くの在住外国人の方の暮らしが豊かになることに貢献することが期待されます。当館は引き続き、多文化共生の推進を目指します。

たまるくとかがくかん し こだいらし ひがしむらやまし きよせし ひがしくるめし にしとうきょうし いっしょ かがくかん
 多摩六都科学館は、5つの市（小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・西東京市）が一緒に作った科学館で
 す。プラネタリウムと、5つの展示室（科学について知ることができる部屋）があります。見るだけではありませ
 ん。実験もできます。科学を楽しく知ることができます。
 プラネタリウムの投影機（機械）は、「CHIRONII(ケイロンII)」です。1億4千万個以上の星を見ることができます。
 世界で一番たくさんの星を見ることができます。

※やさしい日本語

阪神・淡路大震災をきっかけに、外国人への情報提供方法のひとつとして「やさしい日本語」の取り組みがはじまりました。外国人だけでなく、子ども、高齢者、障害を持つ人などにも理解しやすい点で”優しくて易しい”日本語と言えます。

昨年にはスタッフ向けのやさしい日本語研修会を実施し、台風による臨時休館の際のお知らせなど広報に活用し始めました。また1・2月の「やさしい日本語ワークショップ 科学館の絵本をつくろう」、「やさしい日本語でプラネタリウムをたのしもう」では、外国にルーツを持つ子どもを対象としたプログラムを開催しました。

※当館の「やさしい日本語」事業は「ミュージアムを中心とした地域の多文化共生推進プロジェクト」の一環として実施します。平成31年度文化芸術振興費補助金 地域と協働した博物館創造活動支援事業（博物館を中核とする文化クラスター形成支援事業）です。

本件に関する
問い合わせ先

多摩六都科学館 広報担当（石山・蓮田）まで
 〒188-0014 東京都西東京市芝久保町5-10-64
 TEL:042-469-6100（代表） 042-469-6984（広報直通）
 mail: info2@tamarokuto.or.jp